

発行：2016年9月 ニュースレターNo81. WEB版 No6

The Japan Academy of Midwifery Newsletter No.81

発行所 一般社団法人 日本助産学会

〒170-0002

東京都豊島区巣鴨 1-24-1

第2ユニオンビル 4F 株式会社ガリレオ
学会業務情報センター内

TEL:03-5981-9826 FAX:03-5981-9852

E-mail:g019jam-mng@ml.gakkai.ne.jp

代表者 高田 昌代

一般社団法人 日本助産学会ニュースレター



第31回日本助産学会学術集会のご案内

第31回学術集会長 葉久真理

第31回日本助産学会学術集会は、「家族の調和をはかる助産学」をテーマに、様々な状況にある女性とその家族への支援を学び考える機会となるよう準備を進めております。医療の高度化が進む中、価値観の多様化とともに社会規範のゆらぎも指摘されています。また、産後クライシスや産後うつ、虐待など地域や家族の絆の喪失と思える状況も増加傾向にあり、これら状況を防ぐ手立ての検討が急がれます。そこで、本学術集会では、以下のようなプログラムを準備いたしました。

プログラムの特徴

・様々な状況にある女性・家族への支援に向けて

基調講演では、出自を知る権利や死後生殖など、飛躍的に高度化する生殖補助医療技術を活用する中で、命のはじまりから新たに築いていく家族の行方を推し量り、生殖補助医療における倫理の今後の行方について講演いただきます。また、非婚母子や女子受刑者への子育て支援、産後クライシス、虐待による脳への影響やホルモンと母子関係について医学的・科学的知見を踏まえ助産師としてどう取り組んでいくのかを考えます。

・「災害に強い妊産婦ケアシステムの構築」シンポジウム

阪神・淡路大震災をはじめ東日本大震災、そしてこのたびの熊本地震と、大規模自然災害が発生しています。本シンポジウムでは、「災害に強い妊産婦ケアシステムの構築」のために、より具体的な示唆を得、考えて、今後に備える行動を開始することが期待されます。熊本地震で被災された会員の皆様には、学会参加への補助等、31th学術集会ホームペ

ージ (<http://jam2017.umin.jp/>) に掲載しておりますのでご確認いただき手続きをお取りください。

・研究力アップに向けて

研究力アップに向けて、「助産領域におけるシステムティック・レビュー」の教育講演と、「助産実践に求められる尺度とその開発」として、尺度開発された3名の講師によるワークショップを開催いたします。

・市民公開教育講演、市民公開特別講演

日本助産学会では、『一般女性が参加可能なプログラムを組み入れる』方針であり、31th学術集会では市民公開講座の他に、市民公開教育講演と市民公開特別講演を企画いたしました。市民公開教育講演では、「私と家族のために①妊娠期の乳がんを知ろう、②遺伝子検査でわかること」を、市民公開特別講演では世界周産期学会での「ジカウィルス感染と胎児脳障害」研究班班長による講演を開催し、妊産婦はじめ一般女性にも情報提供を行います。

・公開社員総会の開催

学術集会当日(3月18日(土))に開催していただきました『総会』は開催せず、前日(3月17日(金)13:00~14:30)に『公開社員総会』を開催いたします。軽食を準備しておりますので、ぜひご出席ください。軽食準備のため、事前参加登録をお願いいたします。

・懇親会

徳島と言えば『阿波踊り』です。有名連『娯茶平連』の阿波踊りを堪能いただけます。

多くの皆様のご参加を企画委員・実行委員一同、心よりお待ちしております。

開催日時：2017年3月17日(金)

プレコングレス

3月18日(土)~19日(日)

学術集会

開催場所：あわぎんホール(徳島市藍場町2丁目14)

一般演題登録：終了 システム不備に伴う対応として9月16日(金)~9月22日(木)

事前参加登録：2016年9月5日(月)~2017年1月27日(金) 宿泊予約はお早めに

ガイドライン委員会の活動状況について

日本助産学会 ガイドライン委員会 委員長 堀内成子

現在、日本助産学会ガイドライン 2016 の作成の最終段階にきています。

妊娠期の臨床疑問（クリニカル・クエッション）7項目と分娩期の臨床疑問 29項目について、最新の情報を収集して、研究論文を吟味し、推奨文を作成する作業を進めております。今回は、臨床への適用にはかることを念頭において、より利用しやすい形に提示したいと考えております。

会員の皆様からのパブリックコメントを頂く機会をHP上でご案内しています。【締切 10月 1日】皆様からの忌憚のないご意見をいただけるようお願い致します。

完成後は、学会員のみならず多くの臨床現場の方々に利用していただけるよう、購入しやすいシステムを整えたいと思います。

また、全国にガイドラインの普及の為のセミナーを企画したいと考えております。また、会員の皆様からのリクエストにお応えした形のアウトリーチ型の活動も考えております。ご希望がありましたら、ぜひお声をかけていただけると幸いです。

山上の光賞受賞—近藤潤子先生からのお手紙—

天使大学大学院 特任教授 近藤 潤子

助産学の発展のために、教育に研究に日夜ご活躍のことお慶び申し上げます。

このたびは、山上の光賞授賞式にご出席いただきましてありがとうございます。

助産師職の重要性を認識し、微力ながらその発展のために努力してまいりましたが、特別の功績もありませんのにご推薦をいただき恐縮しておりましたところ受賞の運びとなりました。

近年の助産学領域の発展は、実践、教育、研究にあたる多くの方々のご努力によるものであり、特別の功績もない私がこの賞を頂くのは申し訳ない思いではありますが、ご推薦の労をとられた皆様のご厚意に感謝していただくことにいたしました。

高田理事長様始め日本助産学会の皆様のご厚意に深く感謝申し上げます。

助産師にとって大切な時期であると思います。助産学の発展のために本会が十分にお力を発揮して下さいますようお願いしております。

2016年6月17日

学校法人天使学園 理事長
天使大学大学院 特任教授
近藤潤子



ICM 募金の御礼と継続支援のお願い

一般社団法人日本助産学会事務局

ICM 支援のための募金を常時受付けております。

引き続きのご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

☆ICMスポンサー・ア・ミッドワイフ(国際基金)☆

発展途上国の助産師の参加用援助としての募金です。

一口 2,000円

振替口座番号:00190-8-710931

加入者名:日本助産学会国際基金

☆ ICMセーフマザーフード基金 ☆

世界で妊婦死亡率・罹病率が最も高い地域における助産知識の発展を支援する募金です。

一口 1,000円

振替口座番号:00240-8-6818

加入者名:日本助産学会ICMセーフマザーフード基金

事務局からのお知らせ

一般社団法人日本助産学会事務局

今年度平成 28 年度会費 (10,000 円) 納入について

本学会は、皆様の会費をもとに運営しております。円滑な事業推進のため、会費納入がまだお済でない方は早急に下記まで、氏名・会員番号等を通知の上、お振込みをお願いします。

・郵便振込：00120-2-763540

加入者名：一般社団法人日本助産学会

通信欄に会員番号と納入年度を明記

・銀行振込：ゆうちょ銀行 (9900)

〇一九(セロイキョウ)店 (019) (当座) 0763540

一般社団法人日本助産学会 (ジャ)ニホジヨサカガカイ)

氏名と会員番号を通知してください

学会誌投稿(共同研究者含)、学術集会演題応募(共同研究者含)、研究助成応募(研究代表者)等は、会員で該年度の会費納入済みが条件になります。応募される場合は、お早めに会費納入をお済ませの上、お申し込み下さい。また、会費納入が遅れますと学会の諸情報の送付が滞りますのでご注意ください。

なお、納入会費の領収書発行に関してはお手数ですが事務局宛にメールか FAX でご請求ください。

会費納入・会員番号等に関してご不明な時は、事務局までお問い合わせ下さい。

変更届について

住所等の変更に関しては、オンライン会員情報管理システム(詳細は下記)で変更手続きが出来ますのでどうぞご利用下さい。以下のホームページから ID(会員番号)とパスワードをご入力の上、ログインいただき、ご希望の手続きを行ってください。

オンライン会員情報管理システム：

https://service.gakkai.ne.jp/society-member/aut_h/JAM

ID・パスワードがご不明の場合は事務局宛お問い合わせ下さい。

オンライン会員情報管理システムがご利用にならない場合は、変更届の書式は問いませんが必ず書面(E-mail・FAX・はがき等)に明記して、その都度お早めにお知らせください。本学会ホームページからも「変更・退会届」の書式がダウンロードできますのでご利用ください。

変更届は必ずお出しく下さい。学会誌等が届かないような場合は事務局までご一報ください。

退会届について

退会届の書式は問いませんが、書面(E-mail・FAX・はがき等)でお知らせください。本学会ホームページからも「変更・退会届」の書式がダウンロードできますのでご利用ください。

*次年度から退会希望の方は、必ず1月末までに退会届け出をお願いします。退会連絡がない限り会員継続となり、年会費をお納めいただくこととなります。特に口座引き落としご利用の方で退会希望される方はご注意くださいのようですが、会費引き落とし後の退会の会費についてはお返しできません。ただし会費納入年度の学会誌等は送付しますので、十分にご理解いただきたくよろしくお願い申し上げます。

学会誌バックナンバー等の販売のお知らせ

日本助産学会誌バックナンバー第20～28巻は2,500円、ただし26巻2号別冊の[エビデンスに基づく助産ガイドライン]は3,000円、29巻は3,500円(各1部)。日本助産学会暦年記録は、1部3,000円。送料は申込者負担です。

在庫に限りがありますのでご希望に添えない場合はご容赦願います。

申込み方法は、本学会ホームページから申込書をダウンロードして希望を記入の上事務局宛にE-mail添付送信するか、FAXしてください。

一般社団法人日本助産学会事務局

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨1-24-1 第2ユニオンビル4F

株式会社ガリレオ 学会業務情報センター内

TEL:03-5981-9826 FAX:03-5981-9852

E-mail: g019jam-mng@ml.gakkai.ne.jp

ホームページ: <http://square.umin.ac.jp/jam/>

円滑な事業推進のため、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。